



# 校長の目 ～西小日々通信～

令和5年4月25日（火）



今朝は今年度初めてのお話朝会でした。お話朝会は、月に1回ある校長講話です。私の持ち時間は5分間程度ですが、全校児童を前に話すことができる貴重な機会なのです。いわば、校長の授業と言えます。昨年までは、オンラインでしたが、今年度から体育館で対面で行えるようになったので、子供たちの表情を見ることができて話がしやすくなりました。全校が集まるとつい騒がしくなりがちですが、6年生が立派な態度で臨んでくれたので、下学年のお手本になっています。今日は2つの話をしました。一つはタブレットPCのこと、もう一つはあいさつのことです。よい機会でしたので、タブレット貸与のセレモニーを行い、1年生の代表児童に受け取ってもらいました。タブレットは市から貸与されているものですので、学習以外のことで使いわないことや丁寧に扱うことなどを話しました。あいさつについては、あいうえお作文を使ってよいあいさつの仕方を伝えました。



- (あ) あかるく
- (い) いつも
- (さ) さきに
- (つ) つたえる

おひさま学級では、週に1時間音楽専科教諭による授業があります。今日は、音符の種類について学習しました。子供たちが馴染みやすいように、四分音符を「しぶちゃん」、二分音符を「にぶちゃん」、全音符を「ぜんちゃん」と名付けました。しぶちゃんは軽快なテンポ、にぶちゃんはちょっとゆっくり、眠そうなぜんちゃんはすごくゆっくり。NHK「みんなのうた」で有名になった「春の風」に合わせて、手拍子と足踏みでリズムをとらえていきました。先生が、「はい、しぶちゃん」、「はい、にぶちゃん」と合図を出すと、子供たちはテンポを切り替えます。全音符は、四分音符の4倍の長さですから、子供たちの手拍子・足踏みも眠そうなスローテンポになります。それがとても面白くて、子供たちは楽しみながら笑顔で活動することができました。



5年生の教室をのぞいたら、子供たちが黒板の前に集まって相談をしていました。近くにいる子に「なにしているの？」と尋ねたら、「こういうのを可愛くつくるための担当を決めているんです。」と言って委員会名一覧のプリントを指さしました。どうやら、クラスの掲示物を自分たちで作る役割分担を決めているようです。教室には様々な掲示物があります。低学年や中学年であれば、担任が作成しますが、高学年になればそれも自分たちでできるようになります。また、そのことを通して、クラスに愛着を持ったり、帰属意識を高めたり、仲間意識を醸成したりすることができます。子供たちの手作りの掲示物でいっぱい教室は、きっと温かな雰囲気になれることでしょう。

